

人生、 略奪者

— 奪ワレタ、ワタシ —



DOJIN
R18
成人向け

♂ ⇄ ♀
入れ替わり

18歳未満の
購入・閲覧禁止

橘麗
(たちばな れい)

容姿端麗、成績優秀、品行方正。

彼女を形容する言葉は
際限ない。

橘財閥の
ご令嬢でありながら、
微塵も思わせない
親しみやすさ。

皆の憧れの的だ。

不相応なのは
わがっている。

どうしたの？
岩城君？

あの……。
橘さん。

ずっと
前から

それでも、
この想いを

す……
好きでした。

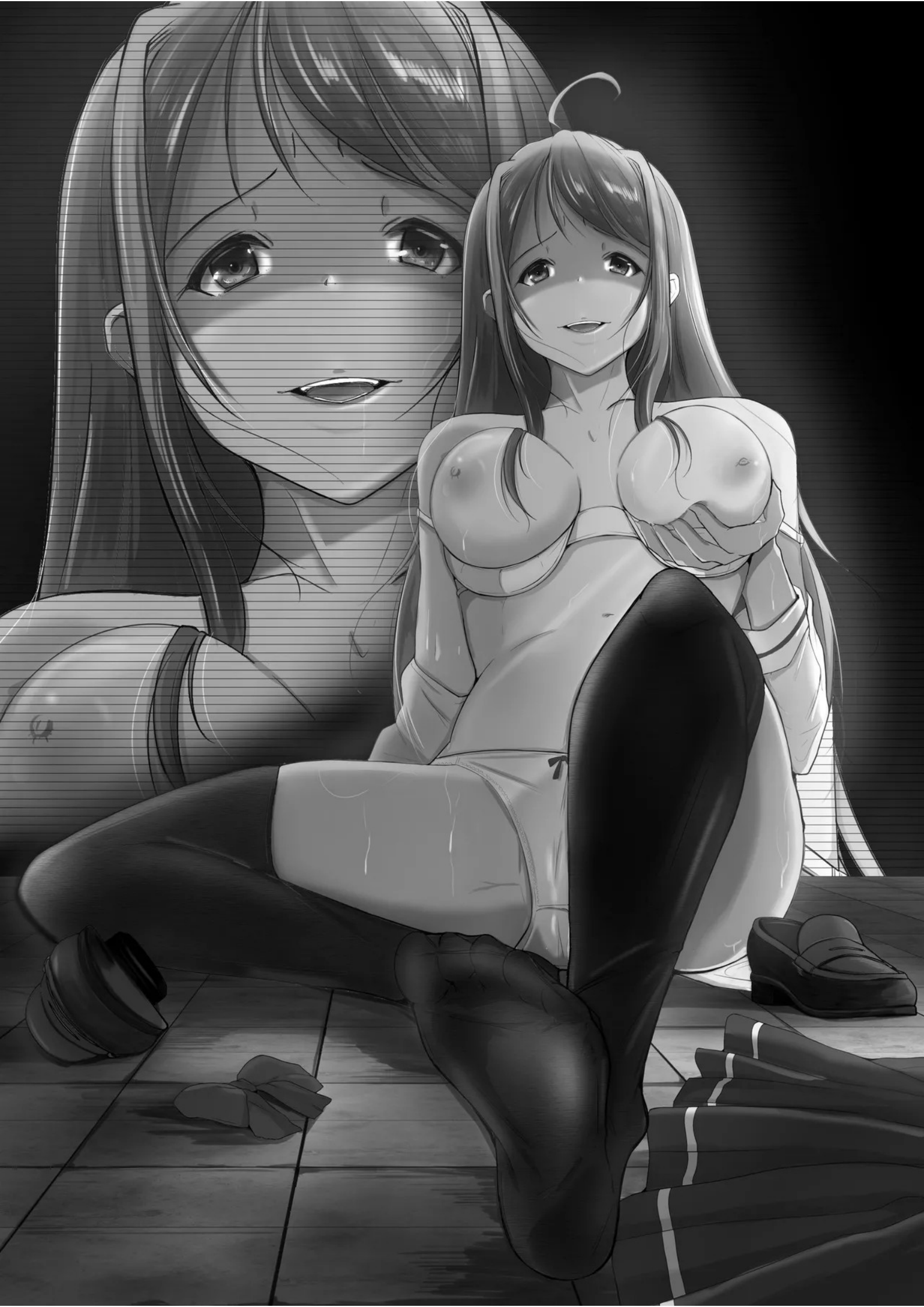
僕と……

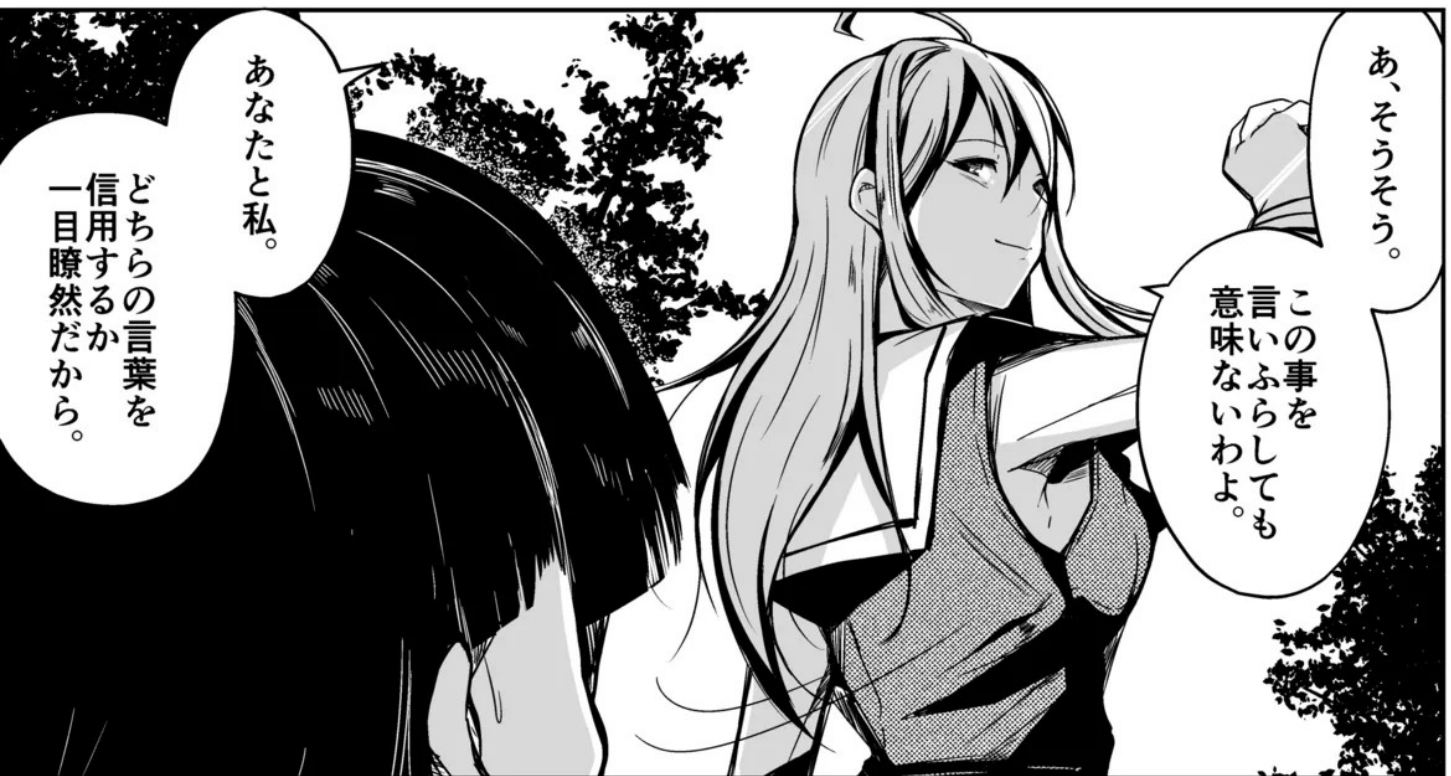
伝えたい！

っ……

付き合っ
てください！

……！





数か月後

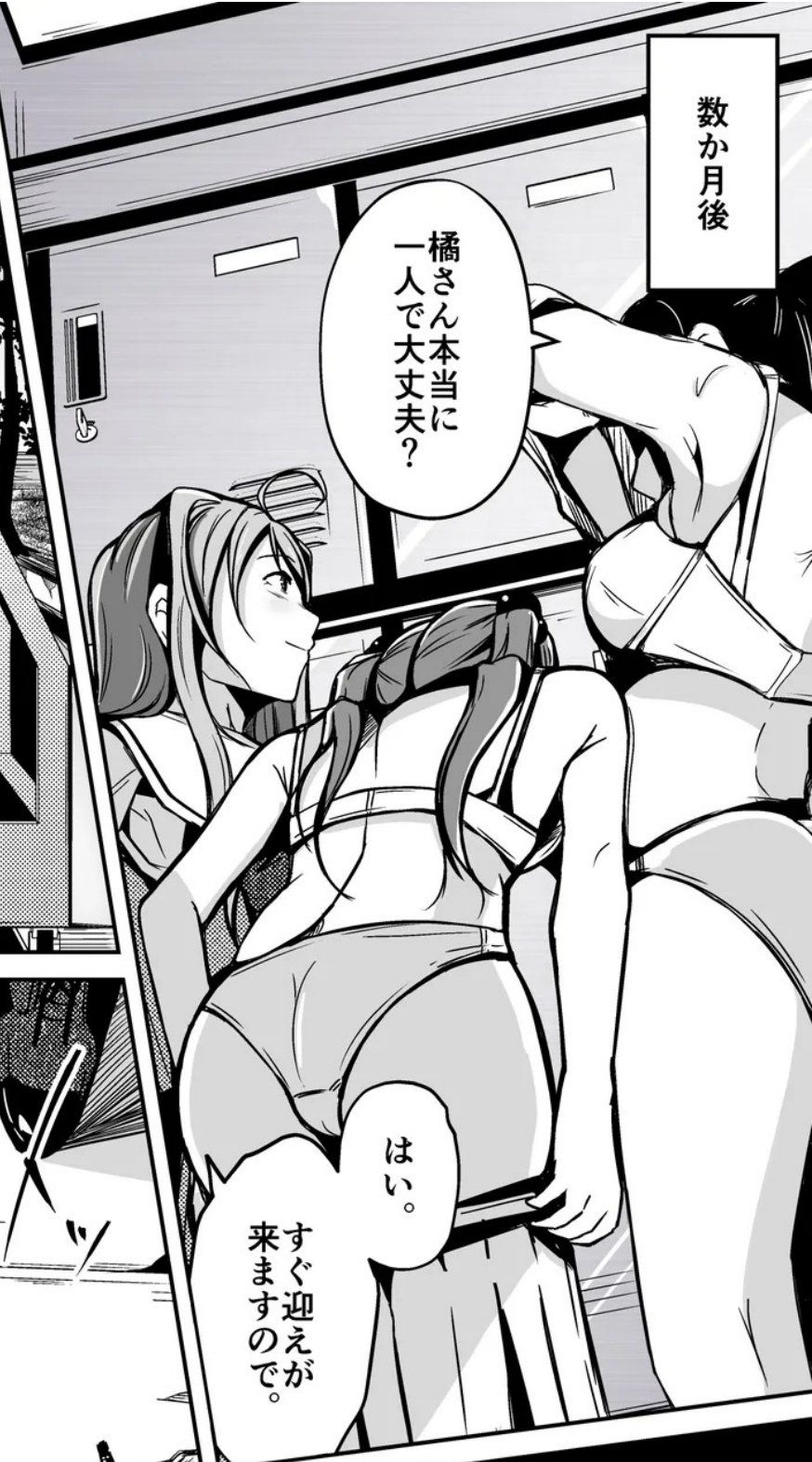
橘さん本当に
一人で大丈夫？

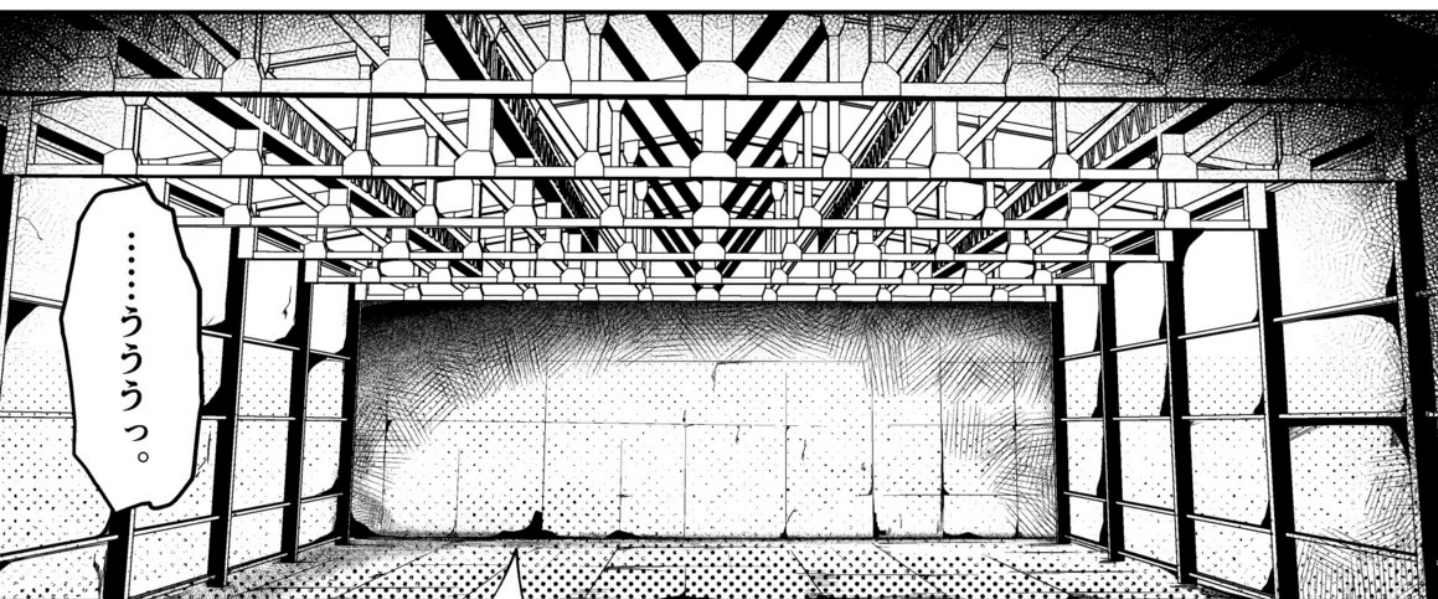
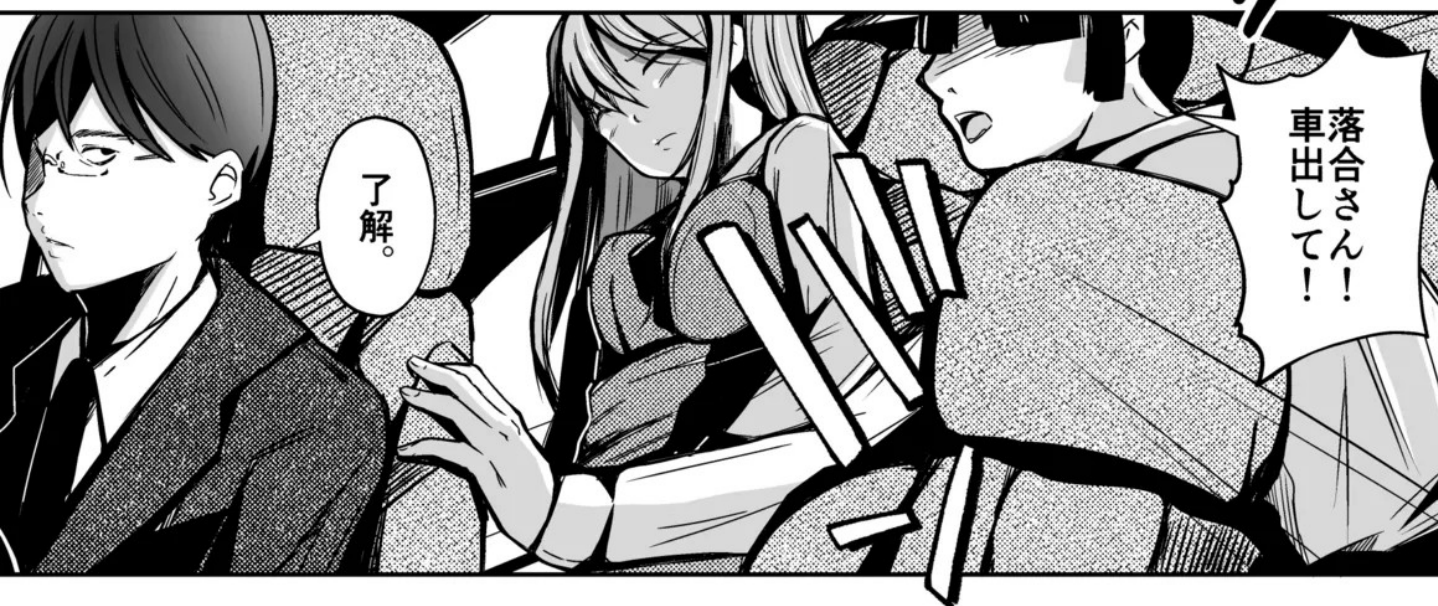
はい。

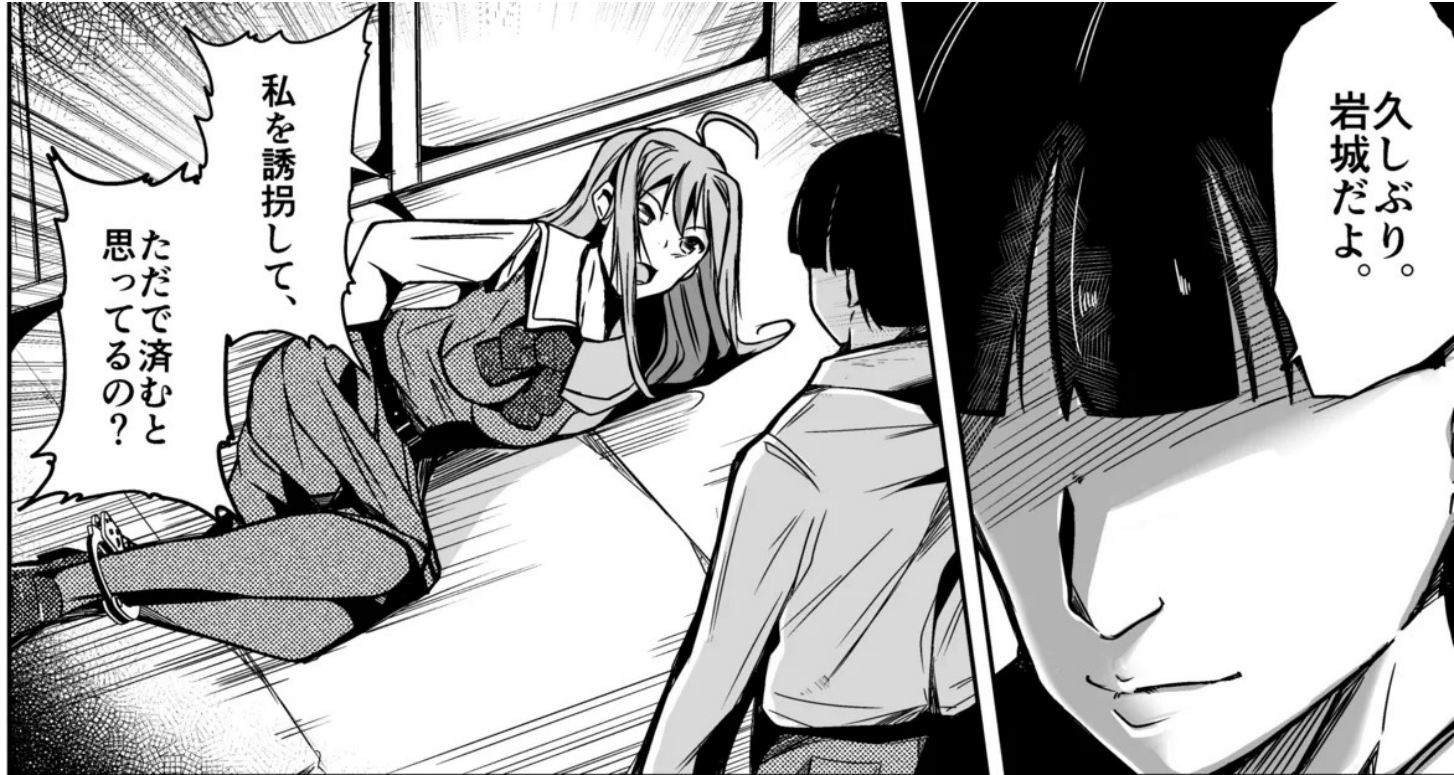
すぐ迎えが
来ますので。

……部活
長引いちゃったな。

ひあああっ！



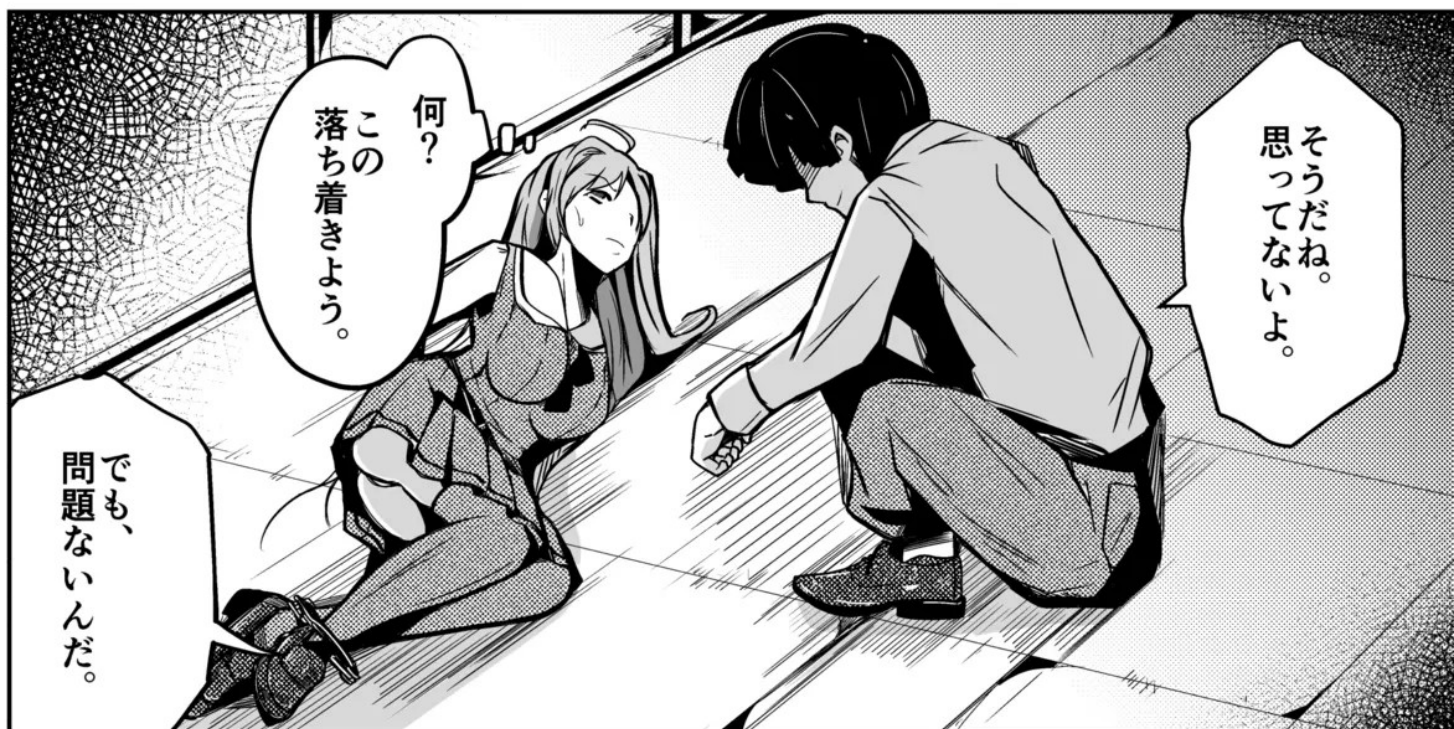




久しぶり。
岩城だよ。

私を誘拐して、

ただで済むと
思ってるの？



そうだね。
思っていないよ。

何？

この
落ち着きよう。

でも、
問題ないんだ。



その処罰を
受けるのも
君だから。

.....
？



橘さん。

あなたは
僕の理想だと
思ってた。

だから、
相応の処罰を

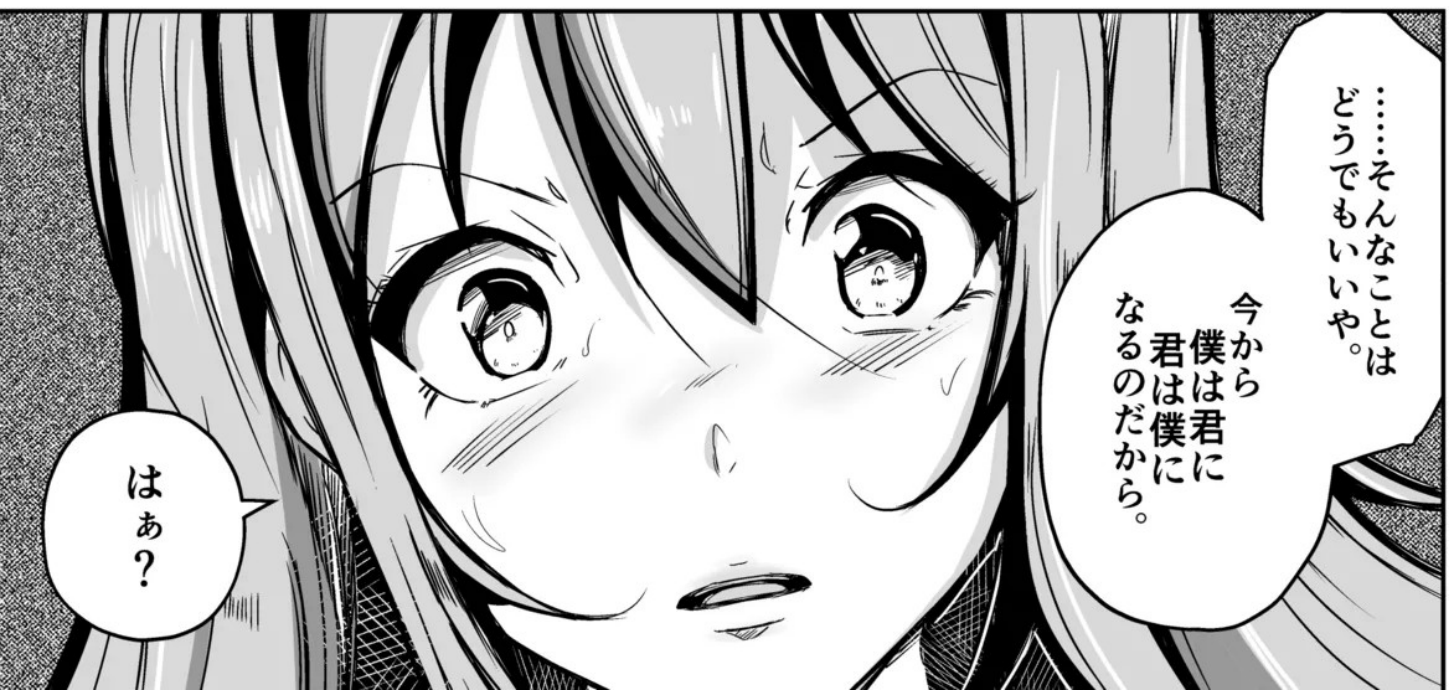
受けなければ
いけない。

勘違いも
甚だしいわね！

あなたの勝手な
思い込みじゃない！

でも、本性は
傲慢な成金女。

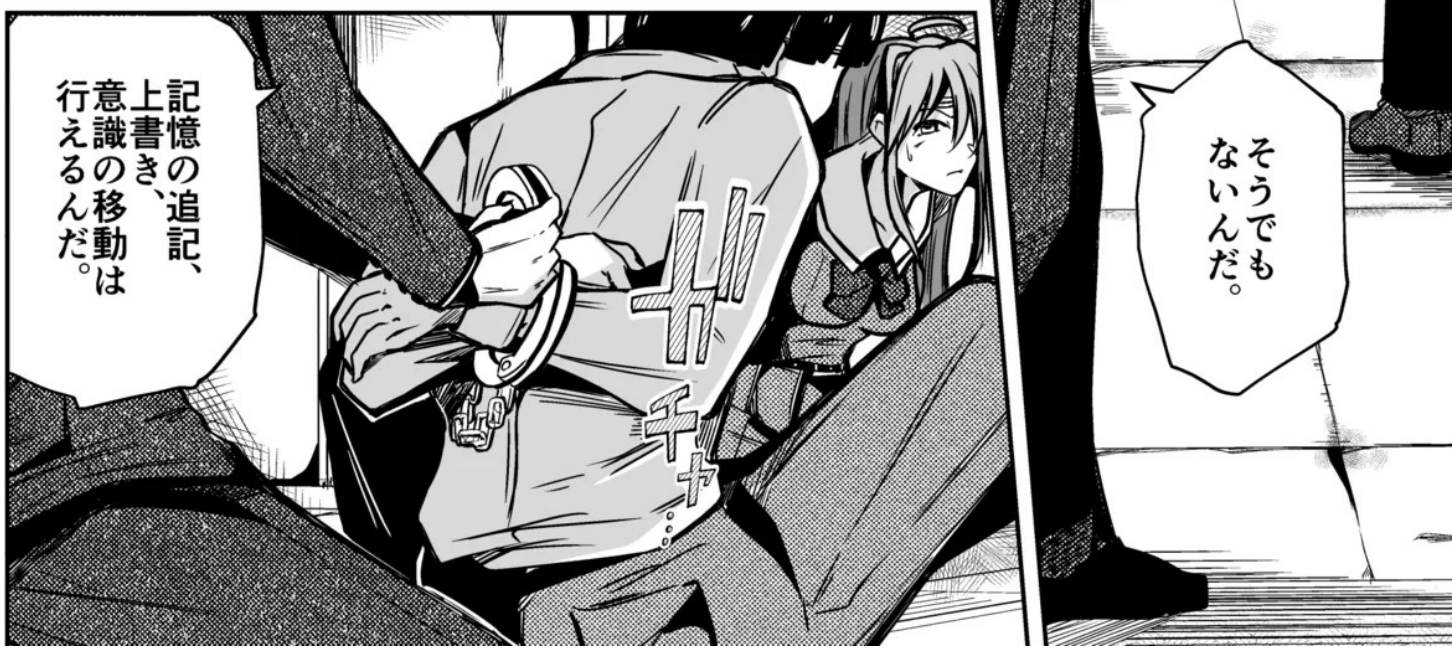
……僕を
裏切ったんだ。



……そんなことは
どうでもいいや。

今から
僕は君に
君は僕に
なるのだから。

はあ？









転送完了

100%

完了シマシタ

転送ガ

随分長い間
気を失っていた気がする。

——
成功したのかな？

僕が
僕を見ている？

という事は
今僕は僕じゃない
別のところから
見ている？

つまりそれって……

気分は
どうだい？
岩城君。

いや、
橘さんと
呼ぶべきかな？

やった！
成功したんだ！

うわあああああ！
凄い！

これはどうみても
女の子から見た視点だ！
それに下着と靴下の
締め付けるような
密着感！

ドキ
ドキ
ドキ

間違いない！

僕は今、女の子に！

橘さんの
身体になってる！

ありがとうございます！

凄く良いです！
本当に
最高です！

憧れた理想の顔、
身体が僕のものに！！

うっわ！
手ちっさ！

ああ。
声もカワイイ……

この声、
僕が出してるんだ。

落合さん！
早く！

まあまあ。
待ってくれよ。



ああ!
やわらかい!

初めて触るのが

自分のだなんて!



このおっぱいも
顔も僕の物なんだあ。

嬉しすぎるよ!

そして、
ここも……



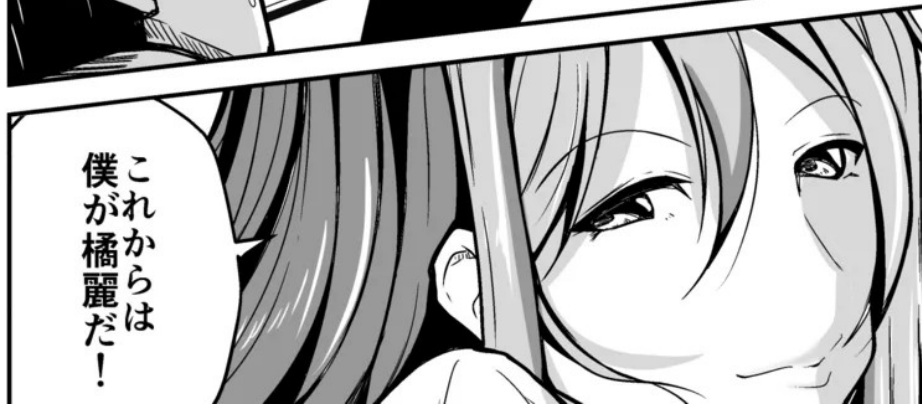
うわああ!
無い!
おちんちん無いよ!

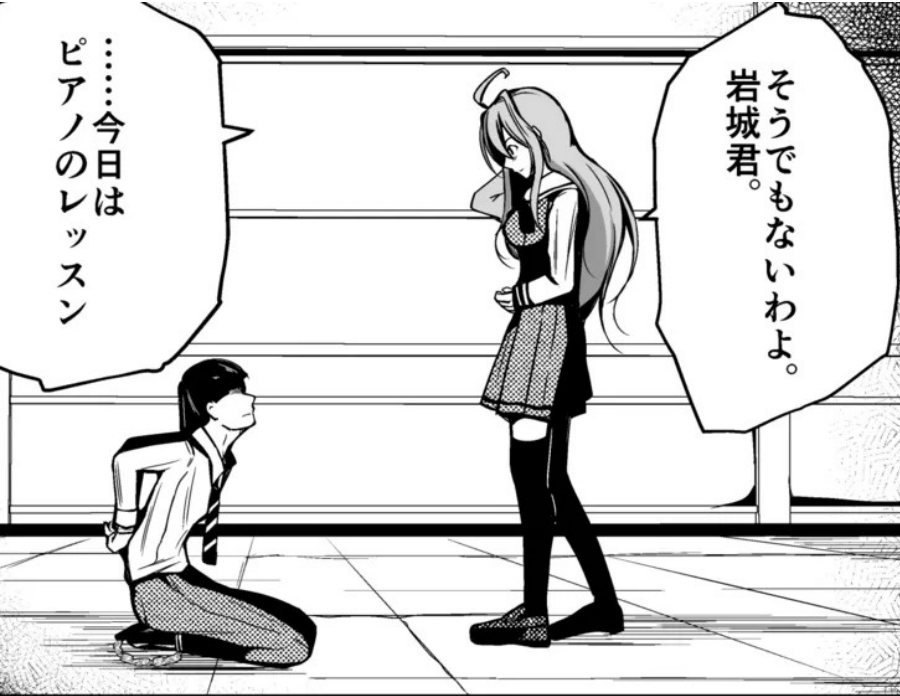
スカート越しでも
おちんちんが
無いのがわかる!

あ、橘さん……
気がついた?

ううう……

な……
なんで私が?





……今日は
ピアノのレッスン

そうでもないわよ。
岩城君。



無理に
決まってるわ！

たとえ姿が私でも

これまでの
経験も知識も
無いあなたでは

すぐにボロが
出るでしょうね！



そして、
その後は久々に

お父様と
お食事の
予定だったよね？

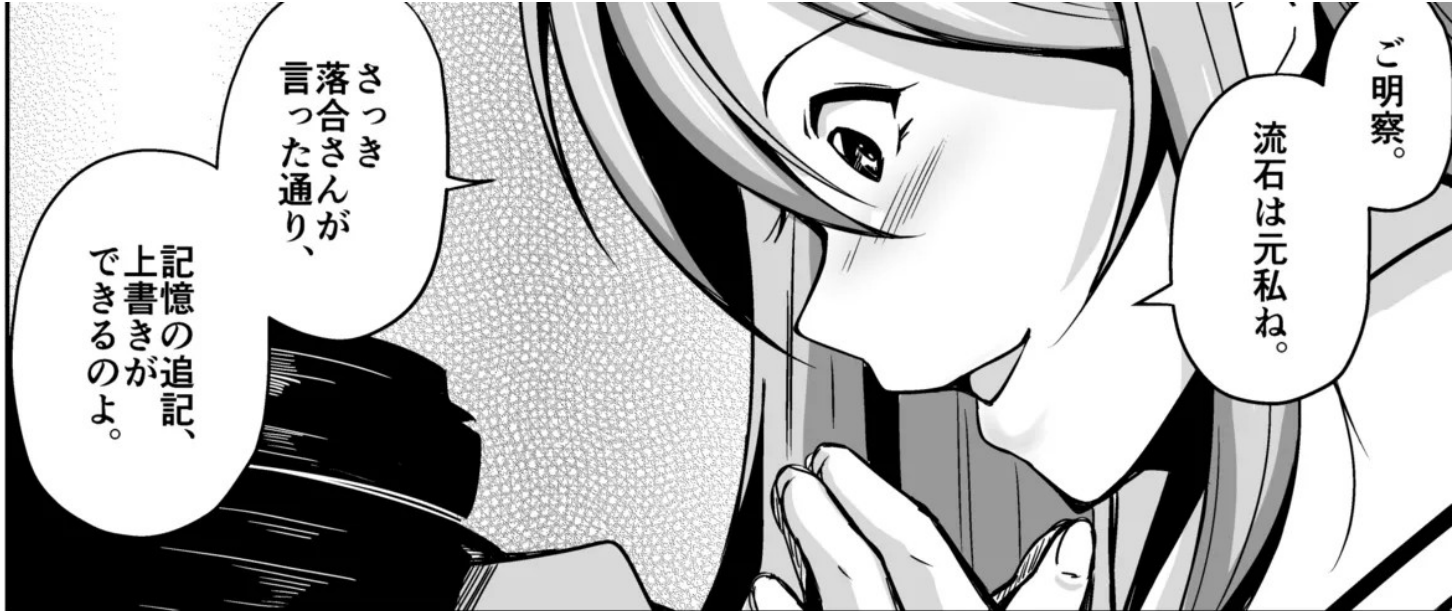


それでも
ボロが出るかしら？

ど、どうして
知って……

それに仕草も
まるで私

まさか！



ご明察。

流石は元私ね。

さっき
落合さんが
言った通り、

記憶の追記、
上書きが
できるのよ。

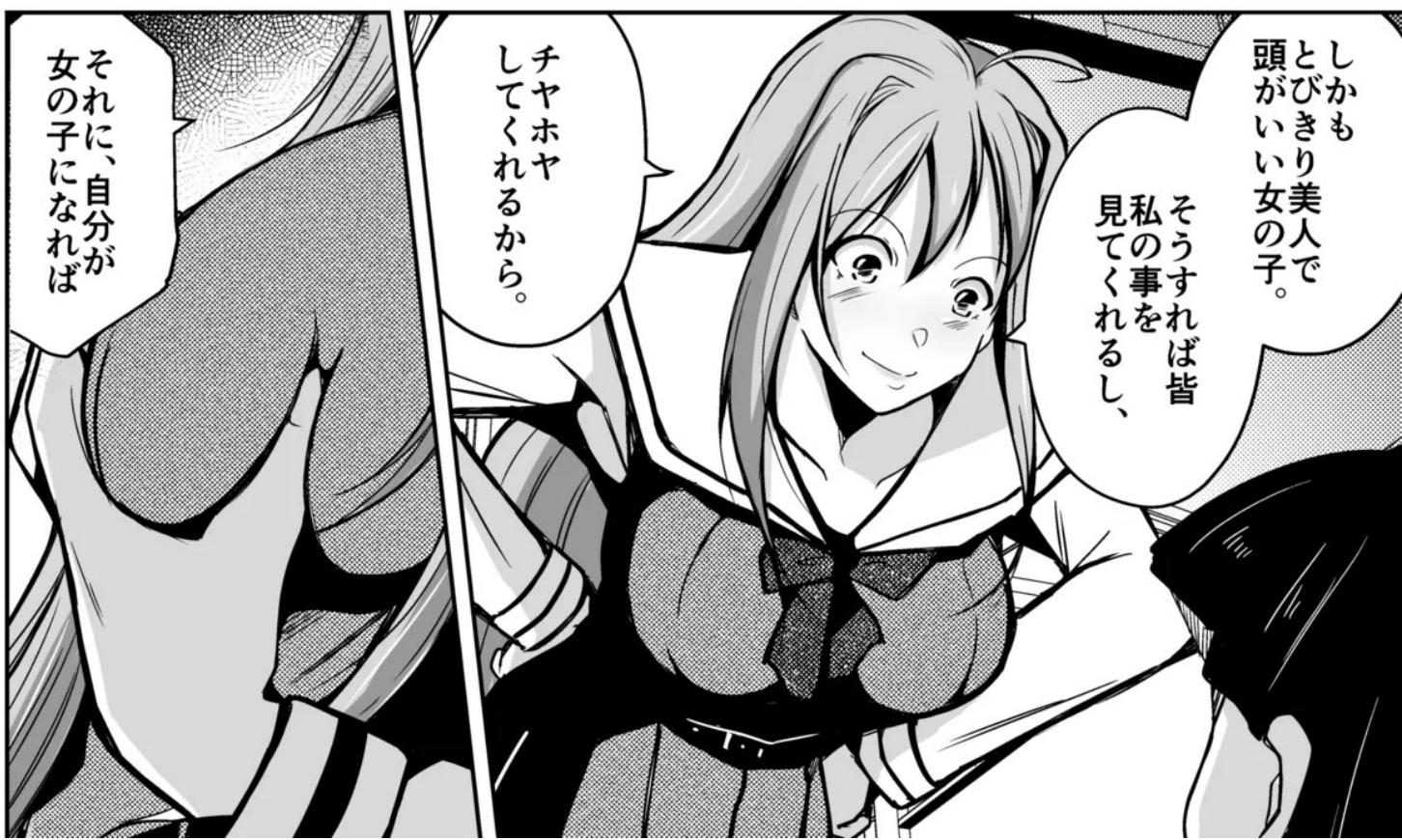


だから、
私は元の自分
あなたの記憶を
追記しているの。

あなたには
橘麗の記憶を
上書きしているから
元の私の記憶は
無いのだけれど。

……私ね。
前から

女の子に
なっていたんだ。
思ってたんだ。



しかも
とびきり美人で
頭がいい女の子。

そうすれば皆
私の事を
見てくれるし、

チャホヤ
してくれるから。

それに、自分が
女の子になれば

触り放題
だもの。

つい最近
落合さんと
知り合って

女の子に
なれるって
わかったの。

心の底から
喜んだわ。

こんな風に。

愚民と私を罵った、
性格以外は極上の
女の身体を奪えば、

復讐も同時に
果たせるし。

スカートが
スースーする

この感覚も
女の子の特権だね。

ホント
ずるいよ。

女の子って。

スカートの
解放感も

ブラジャーの
圧迫感も

そして、
女の子の
快感も

あなたには
当たり前
だったか
もしれな
いけれど、

私にとっては
その全てが

悦びの対象！

布は薄いし、股間に何もなければ、ピタっと肌にはりついている。

パンツを履いでいるはずなのにまるで何も履いてないみたいでドキドキする。

ユコが女の子の……

ついに僕は女の子しか知り得ない快感を

得られるんだ！

はっ

んっ！

や、やめて私の身体で！

もう君のじゃ
ないんだよ。

この身体は
僕の物だ。

はあ。

はあ。

これから
ずっと……

なんか、
突起みたいなの。

ここ、凄く感じる。

亀頭部分の快感を
一点に凝縮したような感じ。

こんな艶やかな声を
僕が出してるなんて。

この声が
男だった時の記憶を
刺激して

はあ。

はっ！

ああああっ！

更に興奮する！

あっ！

ああ。
濡れてきた。

そろそろ中も。

綺麗な
ピンク色だ。

これが僕の
おまんこ……。

んああああ！

さっきのが
一点に凝縮した快感なら
こっちは内へ内へと、
お腹の中に
広がっていくような快感だ！

おっ！

あっ！

さっきとは
全く異質！

凄い！
女の子って！

オナニーだけでも
いろんな種類の快感が
得られるんだ！

あっ！

んっ！



お願い辞めて！
それ以上は！

何を言ってるの？
愚民。



私の自慰が
見れるなんて
こんな光栄な事
ないわよ？



それにそれは

本心かしらね？

やっぱり。

こんなに
おちんちん
勃起させて。

いや、
やめて……！



私、興奮してるの？

なんで、
こんなに嫌なのに、

何で、私は……

なのに何で、

ワタシに
足コキ
こんな事されて、

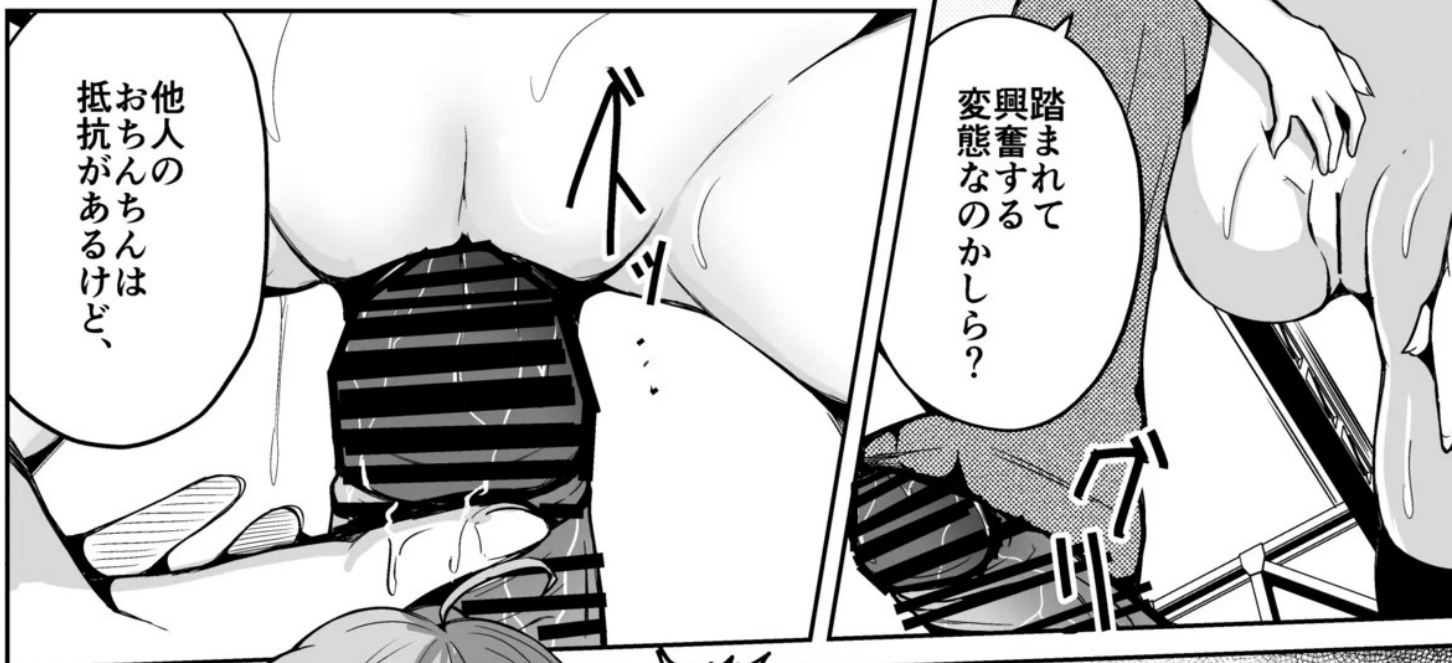


あら？

射精したのに
もうギンギン
じゃない。

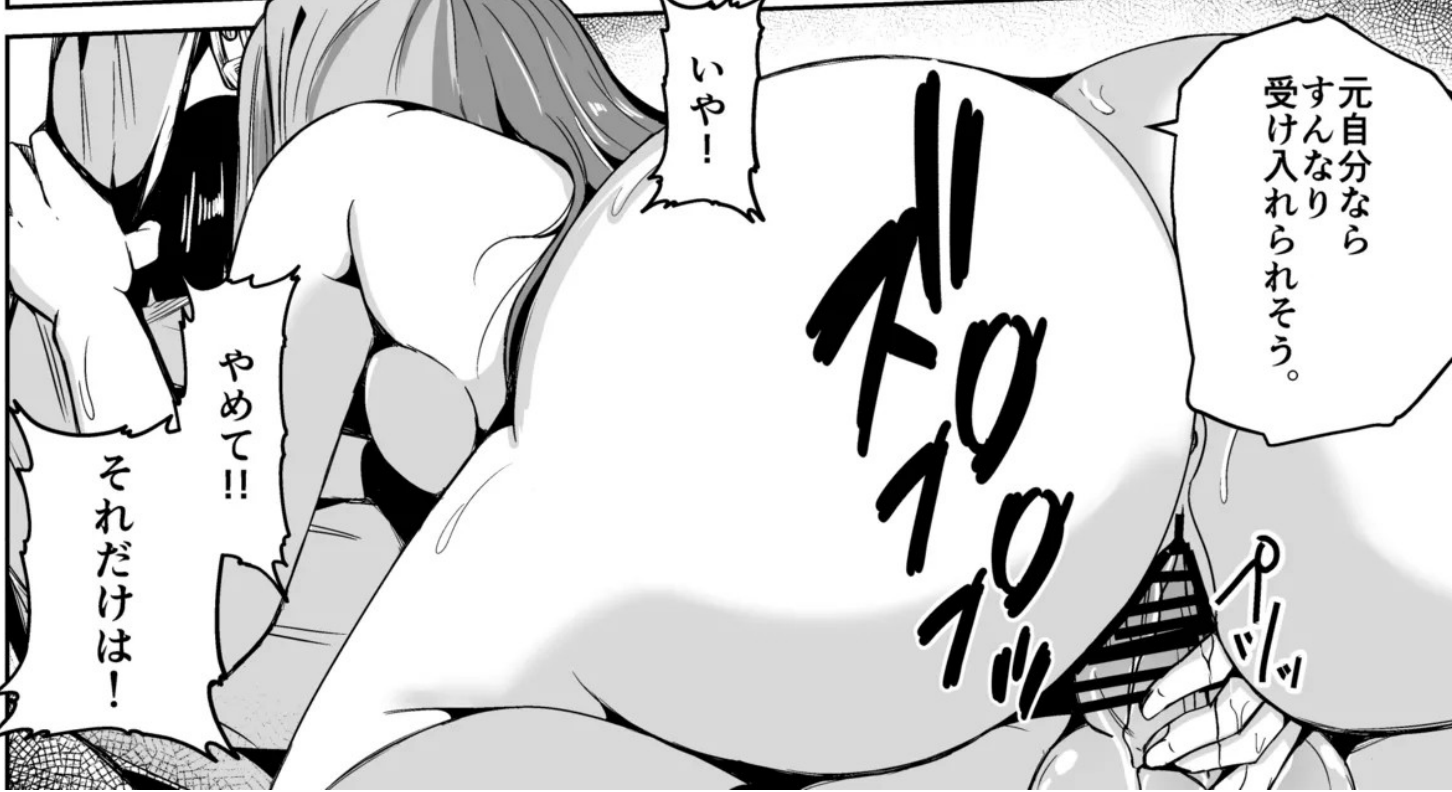
ワタシも
あなたを見てたら

おまんこが
疼いてきたわ。



踏まれて
興奮する
変態なのかしら？

他人の
おちんちんは
抵抗があるけど、



元自分なら
すんなり
受け入れられそう。

いや！

やめて！！

それだけは！

はあ。
入ったあ……。

痛っ！

痛い。
なにこれ、

僕のおちんちんが
膣内で脈打ってる。

きゅん

きゅん

きゅん

ゴ

ちよつと
痛いけど……

我慢我慢。

カリが膣内で
引つかかっで

刺激される！

あっ！

これが挿入される
感じなんだ！

んっ！

このまま

動けば
いいのかな？

は
ちゅん

あっ！

ここ！

んっ！

凄くいい！

はっ！

ピストンする度に、
どこが感じるか

どの程度の
速度が良いか
だんだんわかってきた!

あっ!

んっ!

はっ

はっ

それと、たまに不規則に
おちんちんがピクってなるのが

そうそう。
そこ気持ち良いわ。

岩城君っ!
もっ!

たまらなくて、
おまんこキューってなっちゃう。

いや、私なんですか?
自ら腰を振って?

そろそろ
自覚してきた
かしら?

—!
!?

性感を得れば得る程、
より求めるように

脳の構成に
細工してあるの。

最終的には
猿みたいには

あっん！

ちゅー

性感だけをっ
求めるようにね。

気持ち良すぎて
何も考えられない！

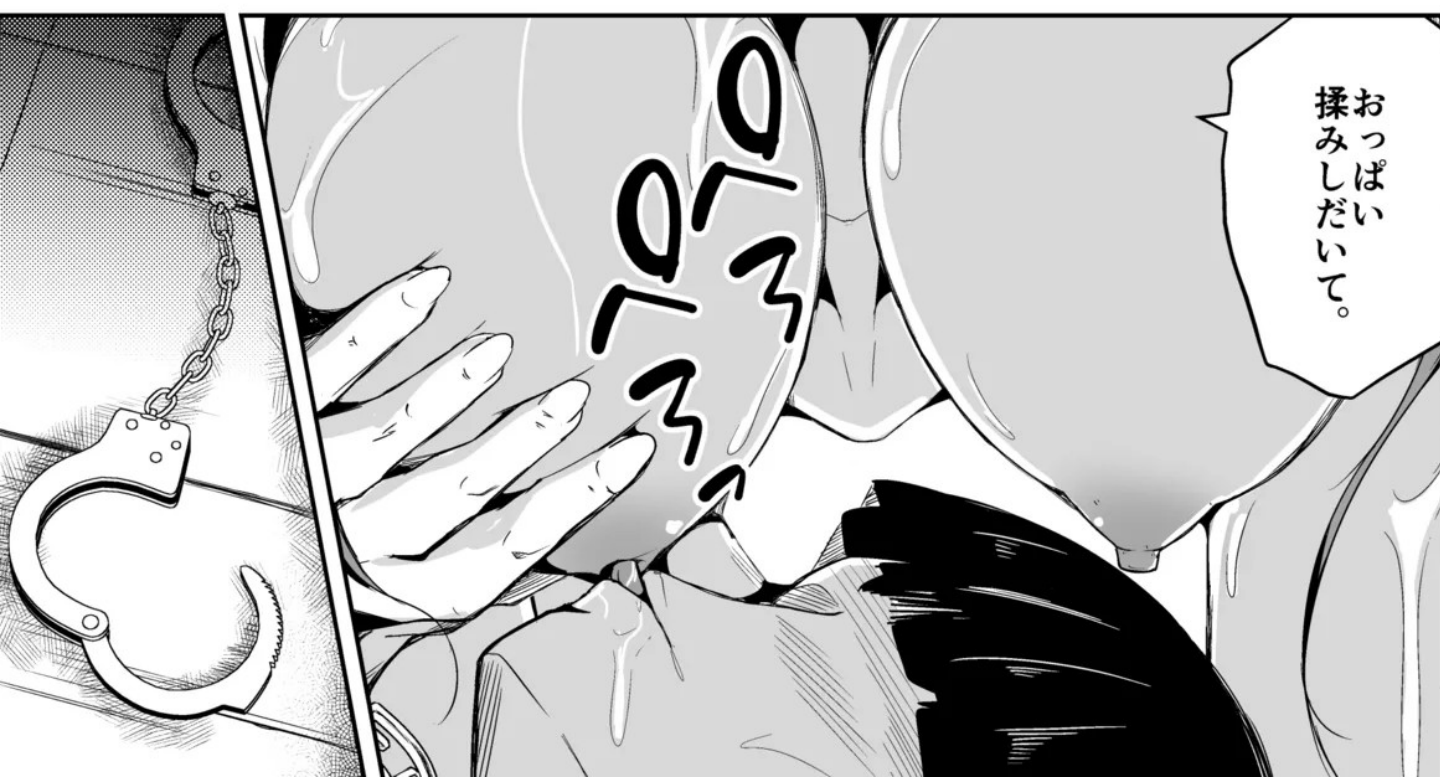
気持ちいい！

女の子凄！

凄いいいっ！

男だったからというのを
差し引いても違いすぎる！

ずるいよ！女の子って。











そうね。

有り余る富、
際限なく満たされる
承認欲求。

あっ！

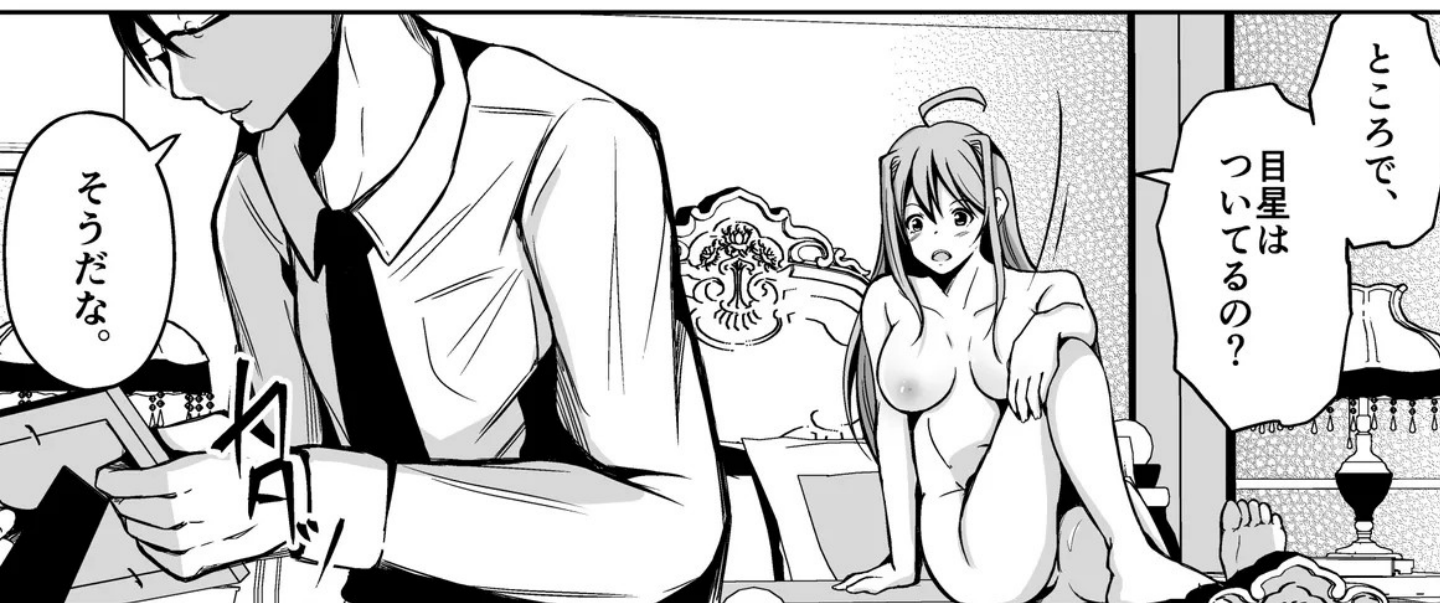
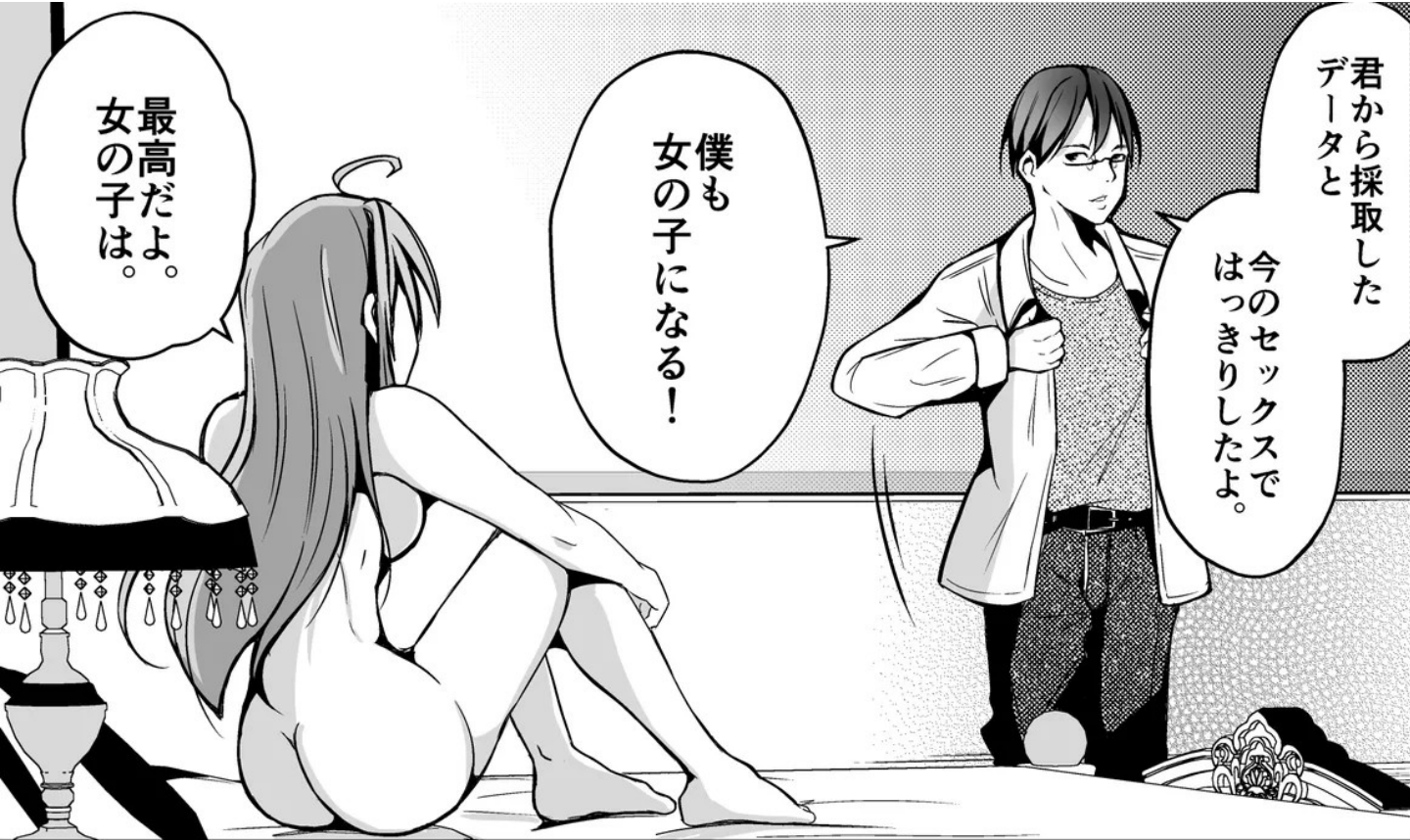
はっ！

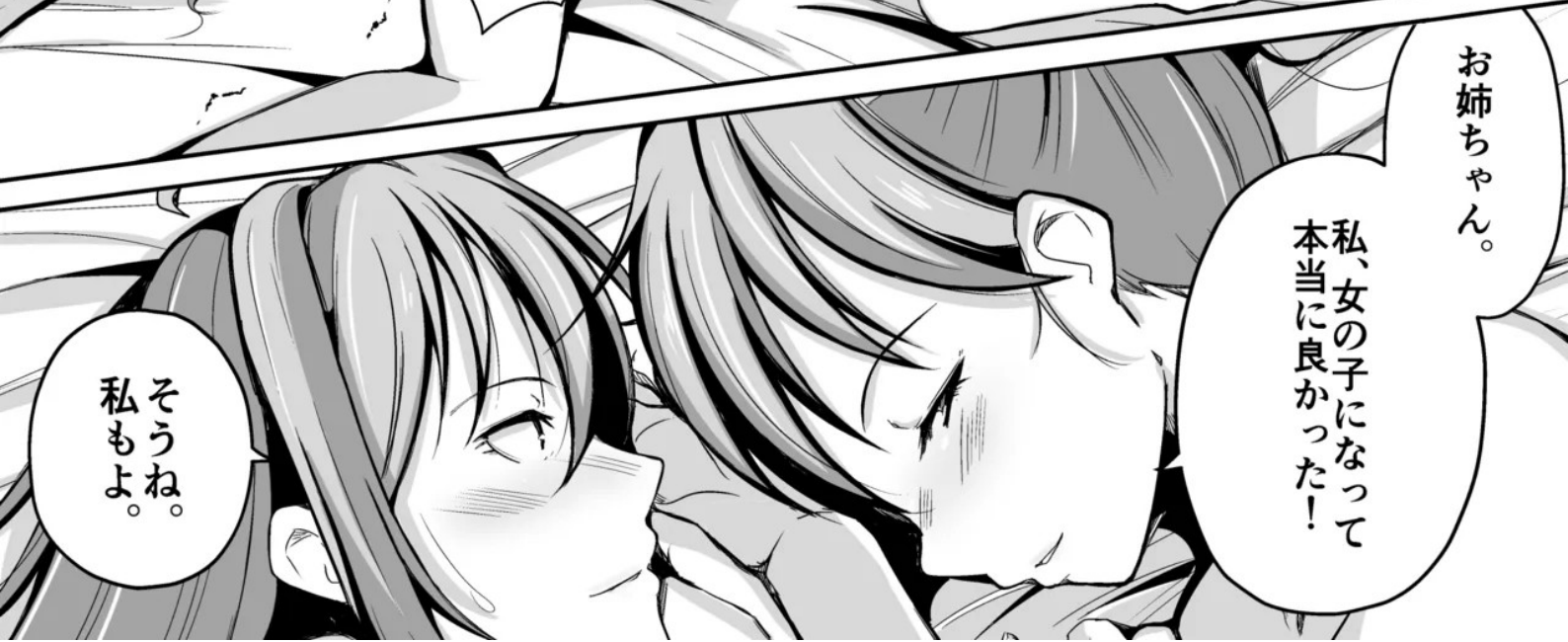
でも、
そんなものを
凌駕するのよ。

女の子の快感は!!

最、高！







いわした書店

2021/06/19

人生ノ略奪者

著者:いわした

pixiv:14897019

twitter:iwashitan

web:<https://www.iwashitan.com>